

食中毒・感染症の予防のために

◆ 生水は絶対に飲まないようにしましょう

- ・井戸水は水質調査で安全確認後、使用します
- ・水道水であっても少しでも変だと思ったら飲まないでください

飲み水のチェックを！

- ✓ 変な味がする
- ✓ 水が濁っている
- ✓ においがする



◆ 食物はなまで食べないようにして、必ず加熱して食べましょう

- ・汚水に触れた食品、停電で保存温度が保てなかった食品は廃棄します
- ・自家栽培の野菜類の生食は避けましょう
- ・調理器具はよく洗って、煮沸（熱湯）消毒をしてから使いましょう

◆ 食事の前、調理の前、用便後は必ず手を洗いましょう

- ・手を洗ったら、手指消毒も

◆ 体に異常を感じたら医療機関を受診しましょう

- ・作業中にケガをしたらしっかり洗浄、消毒
- ・深い傷・汚れた傷は医師に相談



水害で家屋に被害を受けたら



感染症に注意しましょう

大雨や洪水、河川の氾濫などで家屋が浸水した場合、細菌やカビが発生しやすく**感染症**にかかる恐れがあります。

予防のためには**清掃**と**乾燥**が重要です。清掃が不十分だと消毒の効果が発揮できません。

浸水後、確認すること

- ガス漏れ・電気系統の**安全確認**を行いましょう。
ブレーカーは安全が確認できるまで切っておきます。
- 水害後、数日して自宅に戻るときは屋内にカビが発生している可能性があります。
ドアや窓を開放し**30分以上換気**してから改めて家の中に入りましょう。
- 清掃が完了するまで**子供やペット**が屋内に入らないようにします。
- 被災者支援を受けられる場合があります。
被災状況について**写真撮影**を行い、保存していただくようお願いします。



☀ 作業中の熱中症に注意 ☀

慣れない環境や長袖やマスクを着けた作業で**熱中症**のリスクは高くなります。
熱中症は死に至る可能性がある病気ですが、予防できる病気でもあります。
お互いに声を掛け合って十分に注意しましょう。

＊ 予防するには…

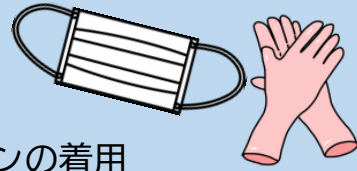
1. 作業開始前には必ず体調確認をして、体調が悪いときは作業を行わないようにしましょう
2. 速乾性・通気性のある服装・帽子を着用しましょう
3. できるだけ二人以上で作業し、お互いに体調を確認しながら作業しましょう
4. のどが渴いていなくてもこまめに水分をとりましょう
5. 一定時間ごとに休憩をとり、休憩のときは涼しい場所を確保しましょう
6. 暑い時間帯の作業は避けましょう



清掃・消毒のポイント

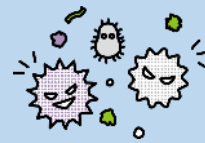
【準備】

- 窓やドアを開けてしっかり換気
- 口と目の保護のためにマスク・ゴーグルを
- けがの予防にヘルメット・ゴム手袋・長靴・長袖・長ズボンの着用



【清掃】

- できる限りドアや窓を開け、扇風機を使い乾燥を
- 浸水して洗うことのできない家具など（ソファ・カーペット・畳）は撤去
- 堅い床や壁、調理台、シンクなどは水と石鹼・洗剤で洗い流す
- 汚泥は十分に取り除く
- 浸水した衣類や布類は 80℃の熱水に 10 分漬けた後、洗濯へ



【消毒】

屋外の消毒は原則不要

- 消毒する場所・ものの汚れが取り除いてあるか確認
- それぞれの場所に適した消毒を



消毒液の種類

次亜塩素酸ナトリウム

詳しくは次亜塩素酸ナトリウムの使い方へ

- ・ 汚染の程度がひどい場合や長時間浸水していた場合に使用
- ・ 消毒する場所で濃度を使い分ける
- ・ 最後は必ず水拭き

アルコール

- ・ 色褪せや腐食などで次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合に使用
- ・ 70%以上のアルコールを使用
- ・ アルコールで拭く

逆性石鹼

- ・ 色褪せや腐食などで次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合に使用
- ・ 消毒液 10ml に水 1ℓ で希釈
- ・ 消毒液で浸した布で拭く

消毒液の作り置きは×

次亜塩素酸ナトリウムの使い方

食器類・調理台・浴槽

- ・ **0.02%**に希釈して使用
- ・ 消毒液に 5 分間漬けて、水洗い
- ・ 消毒液で拭き、水拭き

家具類・床・壁

- ・ **0.1%**に希釈して使用
- ・ 消毒液で浸した布でよく拭き、その後水拭き

ハイター・キッチンブリーチなどの家庭用塩素系漂白剤は
5～6%次亜塩素酸ナトリウムが含まれています。

これらを使用するときは…

消毒液 5ml (付属のキャップ1/4)
水 1ℓ で希釈

消毒液 10ml (付属のキャップ1/2)
水 1ℓ で希釈

3 カ月以上前に購入したものは濃度が薄まります。
なるべく最近購入したものを使用しましょう。

【終了後】

- 清掃・消毒の後は最低 1 カ月以上かけて徹底的な乾燥を
- 作業が終わったらしっかりと手を洗い、シャワーを浴びる
- 清掃時に着ていた服は、汚れていない服と区別して洗う
- 子どもやペットは遊ぶ場所が清潔か確認してから屋内へ



効果的な乾燥方法

床上浸水だけでなく、床下浸水でも乾燥は行わなければなりません。被害は感染症だけでなく、住宅強度が低下します。

- ❖ まずは、できる限り見える水分を取り除く！→乾いた雑巾、スポンジで
手間はかかりますが乾燥の時間をかなり早めます
- ❖ 次に、風を送る！→扇風機、送風機で
自然乾燥では追いつきません
床下の点検口や換気口に設置しましょう